インバウンドに対応した事業所の事例紹介

訪日外国人旅行者、目標『2020年に4千万人』。ラグビーW杯、東京オリンピック、大阪万博など世界規模のイベントにより、当地域にも多くの外国人の来訪が見込まれます。このコーナーでは、訪日外国人に向けた会員企業の取り組みを紹介します。

浜松商工会議所のインバウンド支援メニュー

おもてなし会話帳配布（食事編・買い物編）

販売店や宿泊施設等の従業員がシートを指さしながらコミュニケーション

おもてなし規格認証取得支援

認証取得は「おもてなし規格認証」で検索

OMOTENASHI

インバウンド専門家の派遣

外国人向けPRや、習慣・風習の違いなどによるお悩みを解決

30カ国語対応「浜松餃子」取扱店PRホームページ運営

掲載店募集中

POCKTALKの貸与（ポケトーク）

74カ国語対応の通訳機を条件付き（商業・サービス業の小規模事業所など）で貸与

〈お問い合わせ先〉浜松商工会議所 商業観光課
TEL 053-452-1114
shogyo@hamamatsu-cci.or.jp

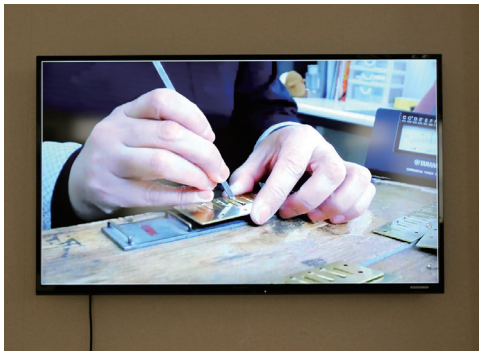
● **キャッシュレス決済の導入**

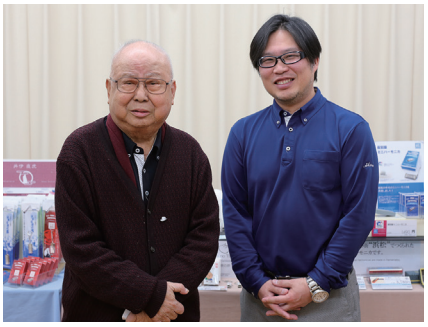
● **外国語による店頭用の販促PR動画**

土産物売場ではミニハーモニカを日本語、英語、中国語で紹介。イベント出店時にはウィーチャットペイでスマホ決済に対応

● **工房見学**

調律作業を2台の小型カメラで撮影し、展示室の大型モニターに映し出す





酢山社長（左）と営業部長の中澤さん

正確な調律のミニハーモニカに『オー！マーベラス！』

昭和楽器製造 株式会社

浜松市中区上島

浜松は『楽器のまち』。「浜松といえばうなぎ」のように、楽器作りそのものが、このまちの名物ともいえる。昭和楽器製造はハーモニカ専門の楽器工房。アクトシティで国際会議などが開催される際、来訪客へのもてなしと地元PRのため、浜松市土産品協会から出店の声が掛かる。

同社の売上高の内訳は卸8割、小売り2割。土産品としてのハーモニカが全体の6～7割を占める。ホテル・高速道路SA・駅構内の土産物売場での販売のほか、工房見学での来訪客にも対応。海外で紹介された日本のテレビ番組を見て、外国人が突然やって来ることもあるという。中国のスマホ決済サービス「ウィーチャットペイ」も導入し、イベント販売でのビジネスチャンスも逃さない。

■企業概要
1947年創業。家族でハーモニカのみを製作する専門メーカー。「楽器のまち浜松」ならではの土産物商品開発が特徴。